



有限会社 四位農園 (しいのうえん)



〈企業HP〉

【設立】昭和53年

【代表者】代表取締役 しい ひろふみ 四位 廣文

【業種】農業（農業生産法人）

【所在地】小林市

【従業員】129名



【概要】 約300haの広大な農地でほうれん草や枝豆などの業務加工用露地野菜や、抹茶の原料である有機碾茶を栽培し、自社冷凍工場における加工から販売までの一貫体制を構築している。また、顧客の要望に応じて、業務用・市販用の異なる規格の商品開発にも対応可能。広大な農地を自社システムで一括管理するなど、デジタル化も積極的に取り入れている。企業理念「私たちは誠実に考え、誠実に行動し、人々の幸せに貢献する。」の下、商品の更なる品質向上と安定的な提供、付加価値の高い商品開発、人材育成や組織体制強化を目指していく。

自社の強み

- 約300haの広大な農地で業務加工用露地野菜と有機碾茶を栽培し、**生産から商品開発までを一貫対応**
- 自社保有の冷凍工場で**加工を内製化**
- 顧客のプライベートブランド商品の開発も行う**柔軟な商品開発力**

付加価値向上のためにチャレンジしたいこと

● 更なる品質向上と安定生産の確立

需要が増加している、そのまま食べられる無加熱摂取冷凍食品は規格基準が厳しく、製造中の衛生基準も高度な管理体制が求められるため、更なる品質向上と栽培技術の継続的な改善、加工技術の向上による**安定的な供給体制**を構築する。

● 有機抹茶への加工及び販売による新市場進出

有機碾茶の加工度を上げ有機抹茶として販売することにより、**ブランドの構築**と**収益性の安定**を図り、**国内外に販路を拡大**していく。

● 人材育成と長期的な人材の定着

現状の人事評価制度を見直し、**公正で明確な評価基準及び運用**により、全従業員に対し平等な成長機会と報酬を提供する。また、従業員へ**効果的な教育制度を検討及び実施**し、長期的な定着に向けて定期的な振り返りを実施することにより、「人」という**経営資源の価値**を最大限に引き出す。

● 組織体制の強化

機械設備の高度化に対応するために、的確に操作・管理できるオペレーターや、現場全体を統括できるマネージャー候補の育成など**組織体制の強化**に取り組む。



有限会社 四位農園 (しいのうえん)



<企業HP>

—野菜の生産をととして、世界に食の尊さを伝える—
自社農場で年間8,000トンの野菜を栽培・収穫し、自社工場で冷凍加工・出荷まで一貫して行っている。



顧客のニーズに合わせてオーダーメイド野菜として商品化し、
安全安心な野菜を全国に届けている。

